



# ウィーン・サロン・オーケストラ

NEW YEAR CONCERT

SALON ORCHESTER ALT WIEN



## ニューイヤークンサート2019

音楽の都ウィーンで抜群の人気を誇る名門オーケストラ。優雅な響きが新年を彩る

写真提供: (公財)富山市民文化事業団



### 予定プログラム

W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K. 488  
[ピアノ：熊本 マリ]

J. シュトラウスII：オペレッタ《こうもり》より序曲  
美しく青きドナウ  
皇帝円舞曲  
トリッチ・トラッチ・ポルカ

J. シュランメル：ウィーンはいつもウィーン

F. レハール：オペレッタ《メリーウィドウ》より「閉ざした唇に」ほか

※曲目・曲順が変更される場合がございます。予めご了承ください。

©Dimo Djicov

UDO ZWISLER

ウド・ツヴェルファー

音楽芸術監督  
コンサートマスター

©Shimokoshi Hanuki  
衣装：ヒロコロン

熊本マリ ピアノソロ

2019 1.8 火 ザ・シンフォニーホール

19:00 (18:00 開場)

〒531-8501 大阪府大阪市北区大淀南二丁目3-3

●JR大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分 ●JR東西線 新福島駅 1番出口から北へ徒歩約10分  
●阪神電車 福島駅 2番出口から北へ徒歩約10分 ●JR大阪駅から西へ徒歩約15分

全席指定 S 6500円 A 4500円 Sペア 11000円  
お年玉席 2000円 [数量限定] (価格はいずれも税込)

※お年玉席はプロアルテムジケのみ取り扱い。  
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取扱 ザ・シンフォニー チケットセンター (10:00-18:00 火曜日定休)  
06-6453-2333 www.symphonycor.jp

プロアルテムジケ 03-3943-6677 www.proarte.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp [Pコード 127-649]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-084-005 l-tike.com [Lコード 57618]

コンサートにご来場いただいたお客様には、  
もれなくスペインの人気スパークリングワイン(カヴァ)  
「フレシネ・コルドネグロビーサイズ(200ml)」  
をプレゼント。(成人の方に限りです)



後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム  
日興文化協会

お問合せ：プロアルテムジケ 03(3943)6677 www.proarte.jp info@proarte.jp

協賛：株式会社フレシネジャパン 主催：プロアルテムジケ/ザ・シンフォニーホール



# ウィーン・サロン・オーケストラ

## ニューイヤーコンサート2019



壮麗、優美、華麗…薫り高きウィーン伝統の音楽で晴れやかな新年が幕を開けます!

ウド・ツヴェルファー (音楽芸術監督・コンサートマスター)

### 正調ウィンナ・ワルツ

日本でウィンナ・ワルツといえば、毎年の元旦にオーストリアの首都ウィーンの楽友協会(ムジークフェライン)大ホールから国際衛星放送で生中継されるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(フィルハーモニカー)の「ニューイヤーコンサート」が有名だ。

しかし、ウィーン国立歌劇場管弦楽団を母体とするフィルハーモニカーはワルツやオペレッタの名曲の演奏団体としては「新参者」に当たる。ヨハン・シュトラウス父子が活躍した19世紀の半ば、彼らが次々と書き下ろしたワルツやポルカはダンスホールや酒場の音楽であり、当時の宮廷(現・国立)歌劇場の音楽家たちが好んで奏でることはなかった。

ヨハン・シュトラウス二世(1825-1899)が1874年に初演したオペレッタの傑作《こうもり》の真価を認め、宮廷歌劇場音楽総監督のグスタフ・マーラー(1860-1911)がレパートリーに採用したのは97年。後継音楽総監督の一人、クレメンス・クラウス(1893-1954)がニューイヤーコンサートを創設したのは1939年と、20世紀の出来事だった。59年にオーストリア放送協会が国際中継を始め、レコード各社が毎年のライブ録音・録画を発売する体制が整って以来、フィルハーモニカーの売り物になった。本来はもっと小編成で歌や踊り、器楽のソロなどを「おせち料理」のようにとり混ぜ、ワイン片手の気軽な雰囲気の中で楽しむ音楽だった。ウィーン・サロン・オーケストラが奏でるのは、フィルハーモニカーとオーストリア放送協会による20世紀のマーケティングが蔓延する以前の、正調ウィンナ・ワルツである。

音楽ジャーナリスト@いけたく本舗(池田卓夫)

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学などで学び、1980年にフォルクスオーパー・ウィーンの前コンサートマスターに就任。1994年にフォルクスオーパー・ウィーン所属の演奏家で構成された「ウィーン・サロン・オーケストラ」を設立した。

1999年には、かつてヨハン・シュトラウス二世が自ら演奏し、本拠地とした歴史的施設「ウィーン・クアサロン」と契約を交わし、同オーケストラの演奏活動を本格的にスタートさせた。ツヴェルファーは、その初代音楽芸術監督およびコンサートマスターとしてオーストリア国内外にて5000公演以上のコンサートを成功させている。

熊本 マリ (ピアノ)

10歳で家族とともにスペインへ渡る。スペイン王立マドリッド、米ジュリアード、英国王立の各音楽院で学ぶ。英国ニューポート国際音楽コンクールに入賞。故ダイアナ妃より賞を授与された。

チェコ・フィルハーモニー、ベネズエラ交響楽団などの共演やヨーロッパでのリサイタルなど世界を舞台に活躍。国内でもローム・リリック全国ツアーや、NHK番組の司会、100万人のクラシックコンサートなど各地で好評を博した。近年は、16年のデビュー30周年記念リサイタルをはじめ、ロームシアターリニューアルで広上浮一指揮京都市交響楽団と共演。17年はウィリアム・ギロック生誕100周年記念CD(プレイズ・ギロック)をキングレコードよりリリース。ギロックの演奏は2018年1月にテレビ朝日「題名のない音楽会」でも取り上げられた。現在、大阪芸術大学演奏学科教授。18年は同大プロムナードコンサートでガーシュウインのラブソディ・イン・ブルーを名古屋、大阪、広島で大友直人指揮のもと共演した。軽快なトークをまじえた独自のコンサートは特に人気が高く、俳優や著名人とのコラボレーション公演、番組出演、執筆など多才な活躍で幅広いファンに支持され続けている。神奈川県マグカル大使として同県文化振興事業に参画する。 [www.marikumamoto.com](http://www.marikumamoto.com)

ヘーゲ・グスターヴァ・チョン (ソプラノ)  
Hege Gustava Tjønn, Soprano

©Q. Driftwood

ズザーナ・フィクローヴァ (バレエ)  
Zuzana Fikrůva, Ballet

©Oliver Bruck

クレメンス・ケルシュバウマー (テノール)  
Clemens Kerschbaumer, Tenor

ウラジミール・スニチェク (バレエ)  
Vladimír Snížek, Ballet

KURSALON WIEN  
ウィーン・クアサロン

